

R5.8.5 りゅうちるネットワーク主催 流域治水キックオフイベント開催概要①

- 8月5日（土）宮城県大崎市の「志田谷地防災センター」において、流域治水オフィシャルサポーターのりゅうちるネットワークが主催し、流域治水キックオフイベントを開催。地元住民や関係者約300名が参加。
- 主催者の挨拶では、昭和61年8月5日の水害を語り継ぐため、8月5日のイベントの開催と活動継続の意義を強調。
- 伊藤大崎市長、小野寺衆議院議員、佐々木県議会議員などが来賓祝辞。伊藤大崎市長の祝辞では「流域の治水対策の加速が図られることを期待。流域治水が普及啓発される良い機会でもあり、りゅうちるネットワークには感謝。河川整備だけでなく、今後は流域治水の推進が必要」などの発言。
- 北上川下流河川事務所と北上土地改良調査管理事務所宮城支所から流域治水や内水排除対策などについて講演。併せて、要介護者の避難訓練のほか、子供達向けの水生生物調査や建設機械展示も同時開催。



▲ りゅうちるネットワーク会長の挨拶



▲会場入口に飾られた七夕飾り



▲伊藤大崎市長による祝辞



▲小野寺衆議院議員による祝辞



▲佐々木県議会議員による祝辞



▲講演の状況

R5.8.5 りゅうちるネットワーク主催 流域治水キックオフイベント開催概要②



▲当日の状況



▲排水ポンプ車 展示



▲重機でGO(VR体験)



▲避難訓練の様子



▲電動バックホウの展示



▲生物調査体験受付の様子



▲定置網を引き上げた様子(右の網は仕組み説明用)



▲定置網でとれたウナギ